



Multi Editor Essential マニュアル

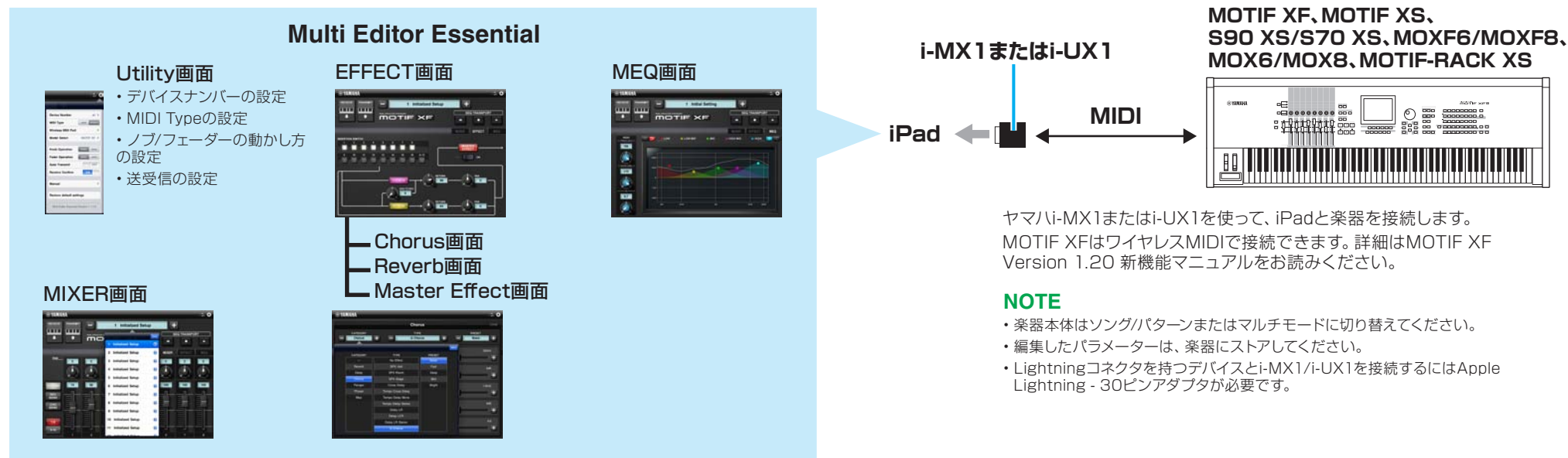
- 市販の音楽 / サウンドデータは、私的利用のための複製など著作権上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

© 2011-2013 Yamaha Corporation. All rights reserved.

MOTIF XF シリーズ、MOTIF XS シリーズ、S90 XS/S70 XS、MOXF6/MOXF8、MOX6/MOX8、MOTIF-RACK XS の設定については、楽器本体の取扱説明書をご参照ください。

Multi Editor Essential の構成

Multi Editor Essential は、MOTIF XF シリーズ、MOTIF XS シリーズ、S90 XS/S70 XS、MOXF6/MOXF8、MOX6/MOX8、MOTIF-RACK XS のソング / パターンモードまたはマルチモードにおける Mixer/Effect/MEQ パラメーターを iPad から編集するアプリケーションです。



ヤマハ i-MX1 または i-UX1 を使って、iPad と楽器を接続します。
MOTIF XF はワイヤレス MIDI で接続できます。詳細は MOTIF XF Version 1.20 新機能マニュアルをお読みください。

NOTE

- 楽器本体はソング/パターンまたはマルチモードに切り替えてください。
- 編集したパラメーターは、楽器にストアしてください。
- Lightning コネクタを持つデバイスと i-MX1 / i-UX1 を接続するには Apple Lightning - 30ピンアダプタが必要です。

このマニュアルでは MOTIF XF を例にしています。接続する楽器により、画面やボタンがない場合があります。

タイトルバーと Utility 画面

ここでは、全体に共通した設定を行ないます。

タイトルバー

Utility 画面

IN OUT (LED icons) - MIDIによる入力があると IN の LED アイコンが点滅します。MIDI 出力時は OUT の LED アイコンが点滅します。

Settings (gear icon) - タップすると Utility 画面が開きます。画面が開いた状態でタップすると閉じます。

Device Number all > - デバイスナンバーを設定します。接続する楽器のデバイスナンバーと合わせてください。

MIDI Type cable wireless - 楽器との接続方法を設定します。
cable: i-MX1 または i-UX1 で接続する場合に選択します。
wireless: ワイヤレス MIDI 接続の場合に選択します。

Wireless MIDI Port > - ワイヤレス接続した MIDI 機器の MIDI ポートを選択します。

Model Select MOTIF XF > - 接続する楽器を選択します。

Knob Operation rotary linear - ノブの動作を選択します。
rotary: タップしたノブを回転方向になぞると、追従して回転します。
linear: ノブをタップし、上になぞるとノブは右方向に回転し、下になぞると左に回転します。

Fader Operation jump catch - フェーダーの動作を選択します。
jump: フェーダーのどの位置をタップしてもフェーダーノブが追従します。
catch: フェーダーノブをタップしてスライドした場合にのみフェーダーノブが追従します。

Auto Transmit OFF - 「ON」にすると、テンプレート*を切り替えたときに、テンプレートデータを自動的に MIDI 出力します。

Receive Confirm ON - 「ON」にすると、[RECEIVE] をタップしたときに、確認メッセージを表示します。

Manual > - タップするとマニュアルが開きます。

Restore default settings - エディターを初期化します。

Multi Editor Essential Version 1.1.1.3 - プログラムのバージョンです。

*** テンプレートとは**
MIXER/EFFECT/Chorus/Reverb/Master Effect/MEQ 各画面の設定を一括で記憶します。この記憶データをテンプレートと呼びます。テンプレートは複数記憶することができ、それぞれに名前をつけたり、呼びだしたり、初期化することができます。

MIXER 画面

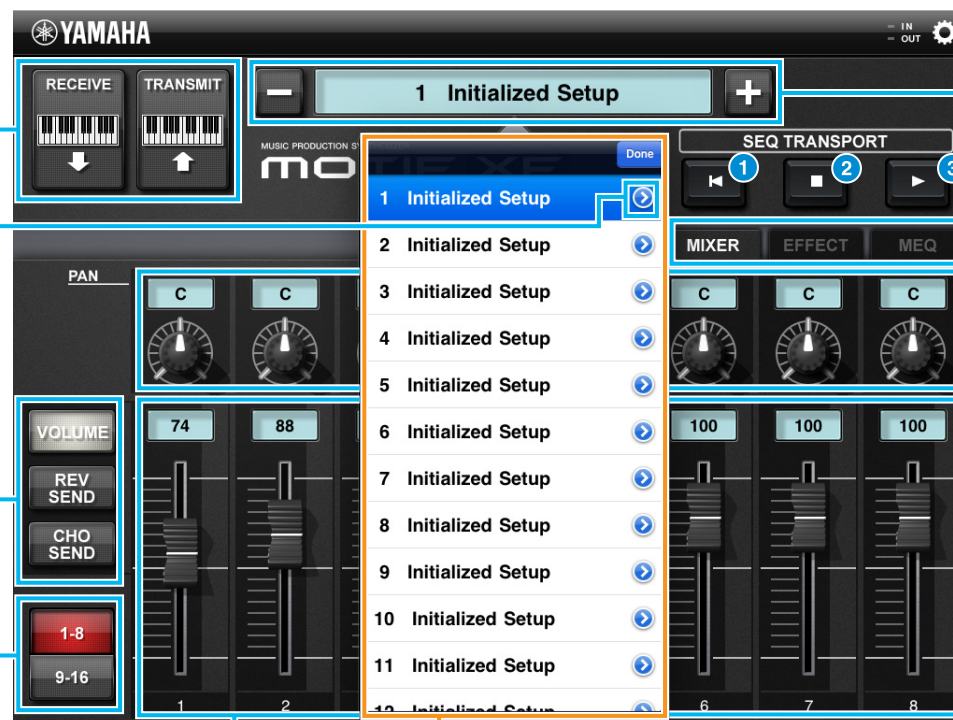
[RECEIVE] をタップすると楽器からデータを受信します。

[TRANSMIT] をタップすると編集中のテンプレートのデータをすべて楽器に送信します。

タップすると、文字入力キーボードが表示され、テンプレート名を変更できます。

フェーダーで操作するパラメーターを選択します。

MIXER でコントロールするパートを **パート1～8** にするか、**パート9～16** にするかを選択します。



テンプレートリスト

リストにあるテンプレートをタップするとテンプレートが切り替わります。

パートごとの **VOLUME/REV SEND/CHO SEND** を調整します。フェーダーを操作すると値を変更できます。表示されている値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作しても値を変更できます。

テンプレート名をタップするとテンプレートリストが開きます。両脇にある [-]、[+] をタップして変更することもできます。

タップすると、**MIXER/EFFECT/MEQ** の各画面に切り替わります。

パートごとの **PAN** を調整します。ノブを操作すると値を変更できます。表示されている値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作しても値を変更できます。

SEQ TRANSPORT

① ソングの先頭小節まで戻します。

NOTE

- ・パターンには機能しません。
- ・MOX6/MOX8、MOXF6/MOXF8 では再生中は機能しません。

② ソングやパターンの再生やレコーディングを止めます。

③ ソングやパターンを再生したり、レコーディングを開始します。

EFFECT 画面

The screenshot shows the Yamaha MOTIF XF EFFECT screen. At the top, there's a header with the Yamaha logo, 'MUSIC PRODUCTION SYNTHESIZER', and 'MOTIF XF'. Below this, a pink box highlights the top section containing 'RECEIVE' and 'TRANSMIT' buttons, a '1 Initialized Setup' display, and 'SEQ TRANSPORT' controls. A pink line points from the text 'MIXER 画面と同じです。' to this section. Below the pink box, a blue box highlights the 'INSERTION SWITCH' section with 16 buttons numbered 1 to 16, plus 'A/D'. A blue line points from the text 'パートごとのインサージョンスイッチ ON/OFF をタップして設定します。' to this section. To the right of the insertion switches is a 'MASTER EFFECT' section with an 'OFF'/'ON' toggle switch. A blue line points from the text 'タップすると Master Effect 画面に切り替わります。' to the 'MASTER EFFECT' button. Below the insertion switches, there are two effect sections: 'CHORUS' and 'REVERB'. A blue line points from the text 'タップすると Chorus 画面に切り替わります。' to the 'CHORUS' button. Another blue line points from the text 'タップすると Reverb 画面に切り替わります。' to the 'REVERB' button. The 'CHORUS' section has a 'CHO TO REV' knob and a 'RETURN' knob set to 96. The 'REVERB' section has a 'RETURN' knob set to 64. Both sections have 'PAN' controls. A blue line points from the text 'ノブを操作して該当パラメーターを調整します。それぞれのパラメーター値をタップするとスライダーが表示されます。そのスライダーを操作して調整することもできます。' to the 'RETURN' knobs.

MIXER 画面と同じです。

パートごとのインサージョンスイッチ ON/OFF をタップして設定します。

タップすると Chorus 画面に切り替わります。

タップすると Reverb 画面に切り替わります。

タップすると Master Effect 画面に切り替わります。

Master Effect の ON/OFF を設定します。

ノブを操作して該当パラメーターを調整します。
それぞれのパラメーター値をタップするとスライダーが表示されます。
そのスライダーを操作して調整することもできます。

Reverb/Chorus/Master Effect 画面

Reverb/Chorus/Master Effect 画面は同じレイアウトです。



タップすると EFFECT 画面に戻ります。

エフェクトタイプセレクト

エフェクトタイプを選択します。CATEGORY/TYPE/PRESET 名をタップするとリストが表示されます。CATEGORY/TYPE/PRESET 名の両脇にある [-]、[+] をタップしても、変更することができます。

エフェクトリスト

リストで CATEGORY > TYPE > PRESET の順に選択します。

エフェクトパラメーターエディット

調整したいパラメーターのスライダーをドラッグして値を調整します。
両脇にある [-]、[+] をタップすると値を微調整できます。

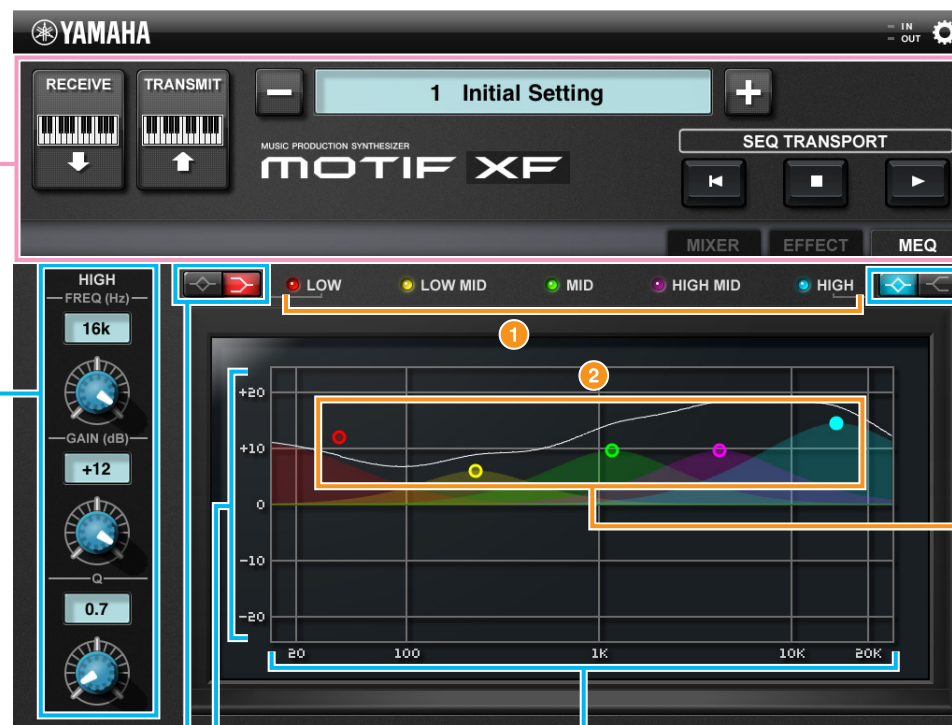
画面を上下にドラッグするとパラメーターがスクロールします。



MEQ 画面

MIXER 画面と同じです。

① または ② で調整したいバンドをタップします。バンドが選択されると、ノブの色が選択したバンドの色に変化します。バンドを選択したら、ノブを操作してパラメーターを調整します。値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作して値を調整することもできます。



HIGH をピーキングにするかシェルビングにするかをタップして設定します。左がピーキング、右がシェルビングです。

各バンドのゲインおよび周波数は、グラフ上で、バンドに対応した色のドットをドラッグすることにより調節できます。

ゲイン

周波数

LOW をピーキングにするかシェルビングにするかをタップして設定します。左がピーキング、右がシェルビングです。